

2006年7月期決算説明会



日本駐車場開発株式会社
(証券コード 2353)

第15期 決算の概況

- 決算ハイライト
- 事業別売上変動要因
- 地域別売上変動要因
- 営業利益変動要因
- 物件数及び台数の増加
- 四半期別経常利益率の推移
- 総資産の増加
- 営業外損益の増加

決算ハイライト【連結】



NIPPON PARKING DEVELOPMENT

	'06/07月期 (百万円)	'05/07月期 (百万円)	前年比 (%)	計画増減比 (%)
売上高	5,548	4,512	123.0	7.5
売上総利益	2,340	1,957	119.6	-
営業利益	1,127	979	115.2	-
経常利益	1,824	1,019	179.0	1.3
当期純利益	1,069	612	174.7	2.4

2006年3月発表修正計画対比

決算ハイライト【単体】

	'06/07月期 (百万円)	'05/07月期 (百万円)	前年比 (%)	計画増減比 (%)
売上高	5,408	3,750	144.2	5.1
売上総利益	2,113	1,404	150.5	-
営業利益	1,037	700	148.0	-
経常利益	1,733	741	233.8	8.3
当期純利益	1,014	450	225.4	9.3

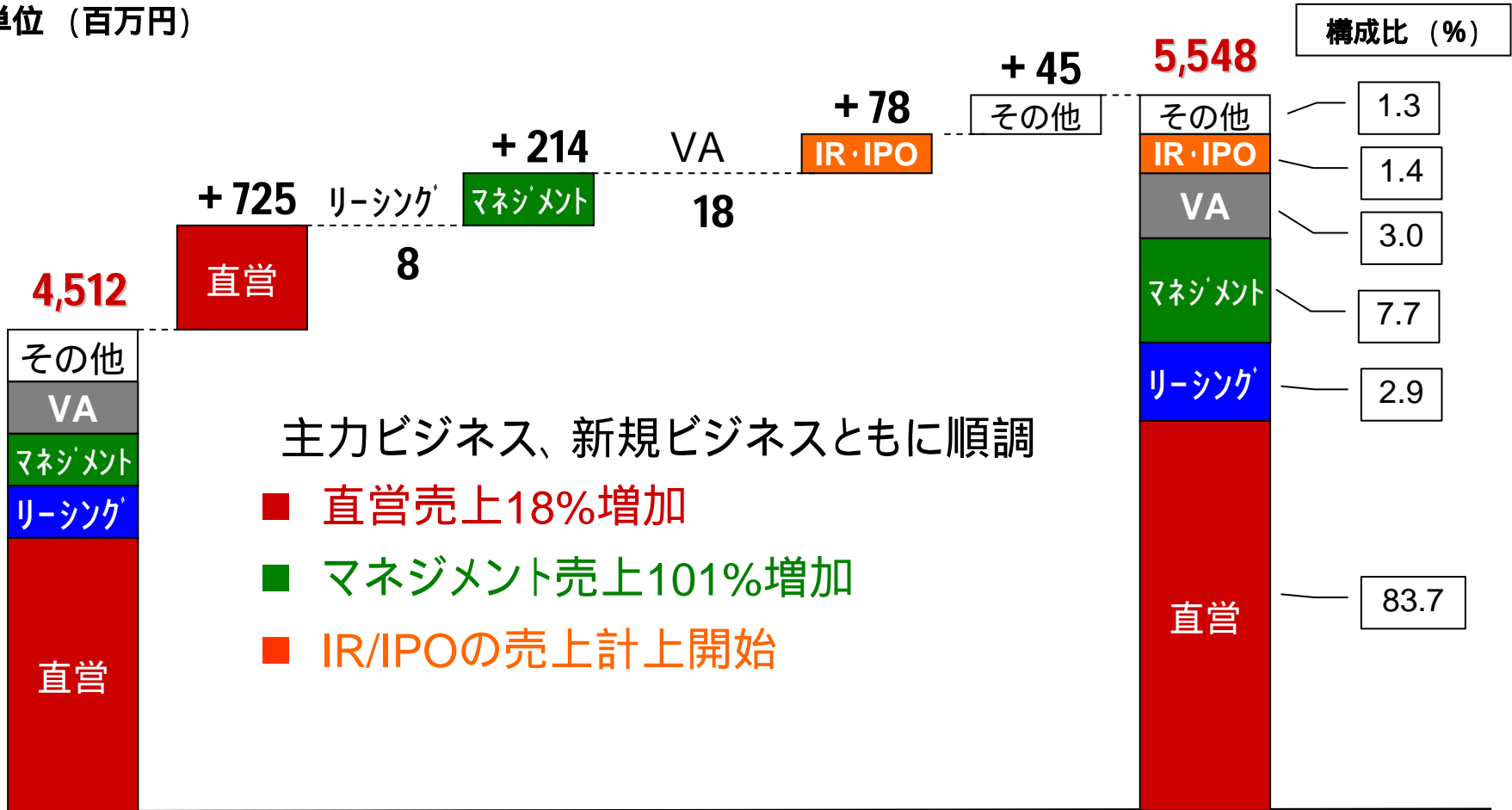
2006年3月発表修正計画対比

事業別売上高変動要因【連結】



NIPPON PARKING DEVELOPMENT

単位 (百万円)



主力ビジネス、新規ビジネスともに順調

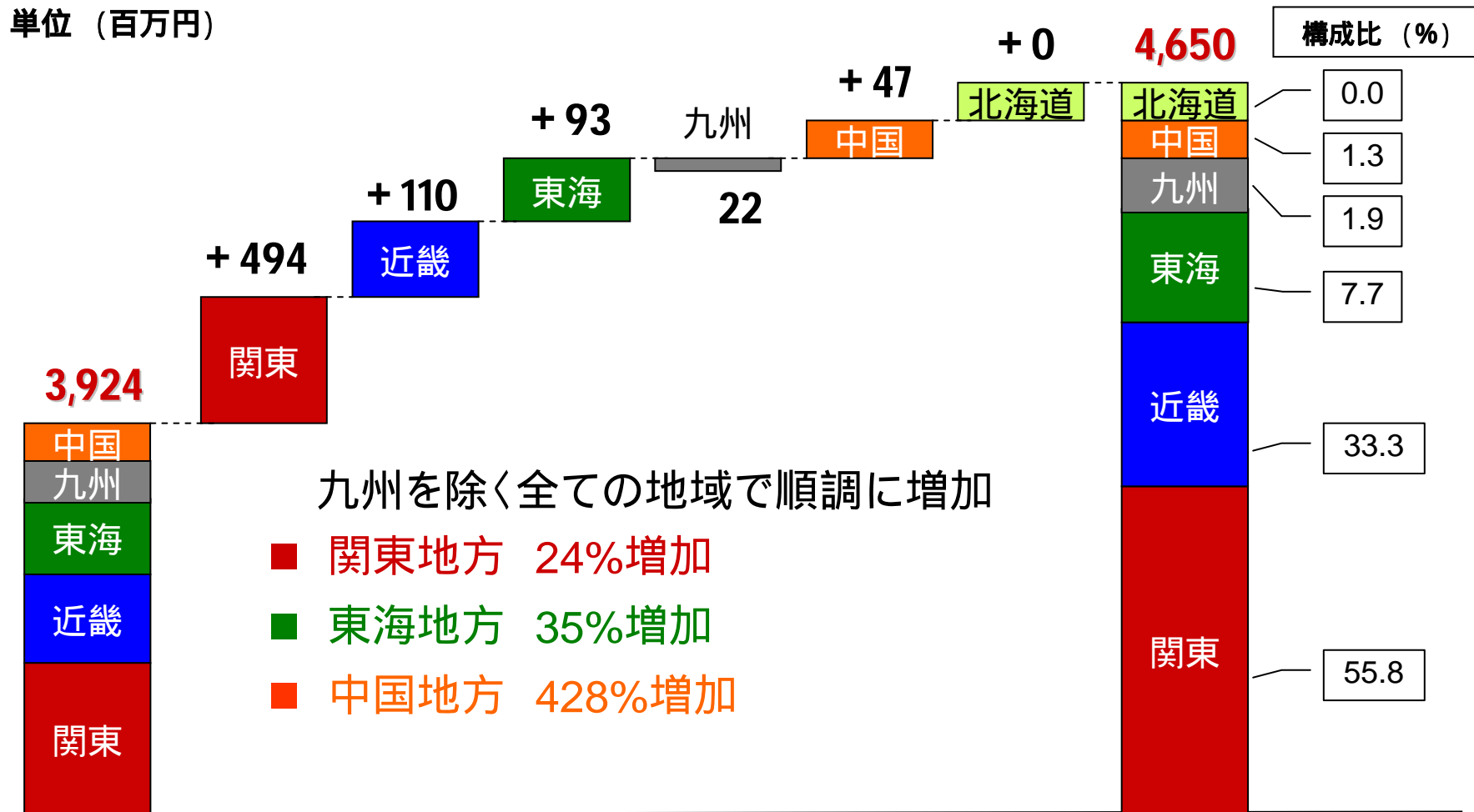
- 直営売上18%増加
- マネジメント売上101%増加
- IR/IPOの売上計上開始

'05/7

'06/7

地域別売上高変動要因【直営事業】

単位 (百万円)



'05/7

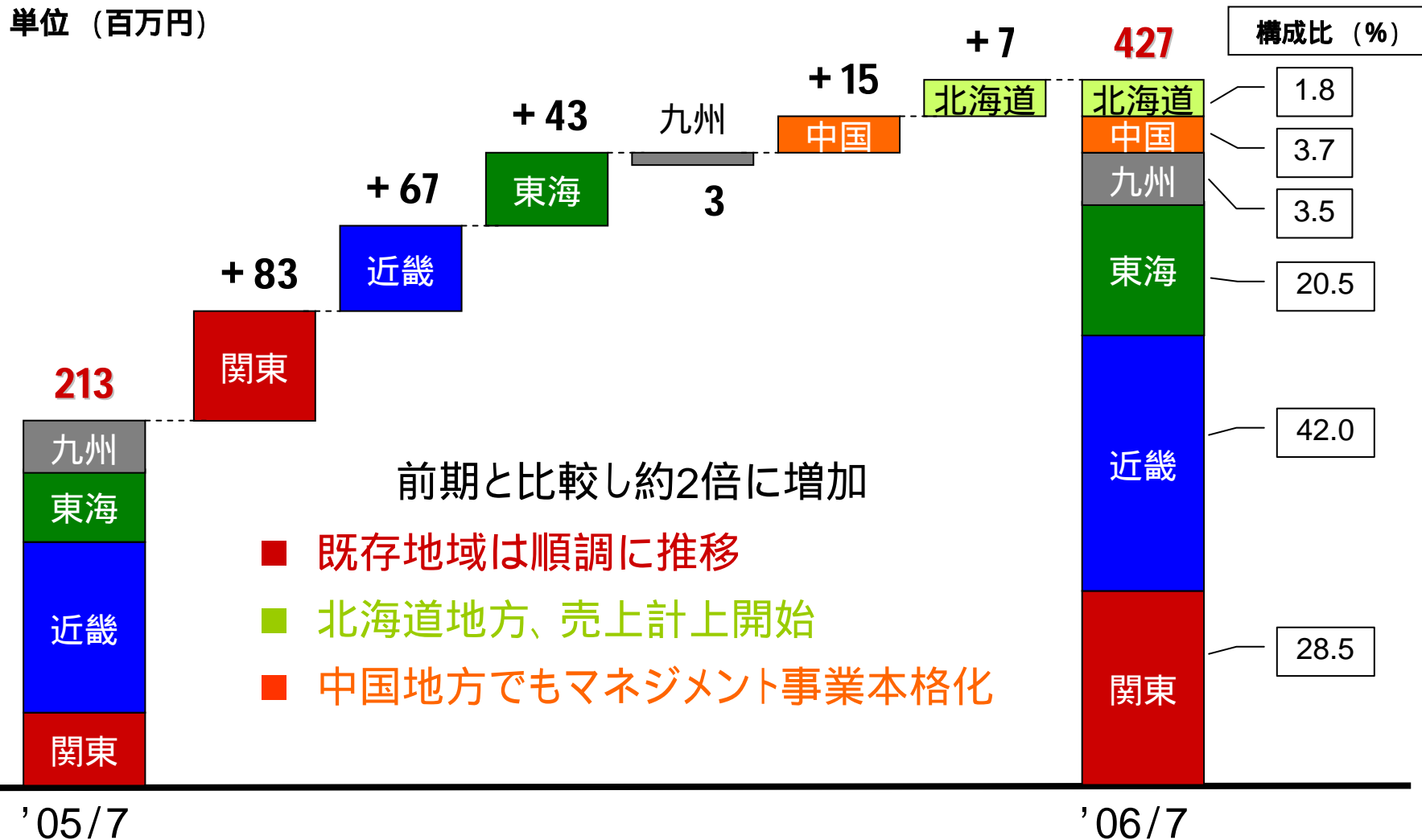
'06/7

地域別売上高変動要因【マネジメント】



NIPPON PARKING DEVELOPMENT

単位 (百万円)



前期と比較し約2倍に増加

- 既存地域は順調に推移
- 北海道地方、売上計上開始
- 中国地方でもマネジメント事業本格化

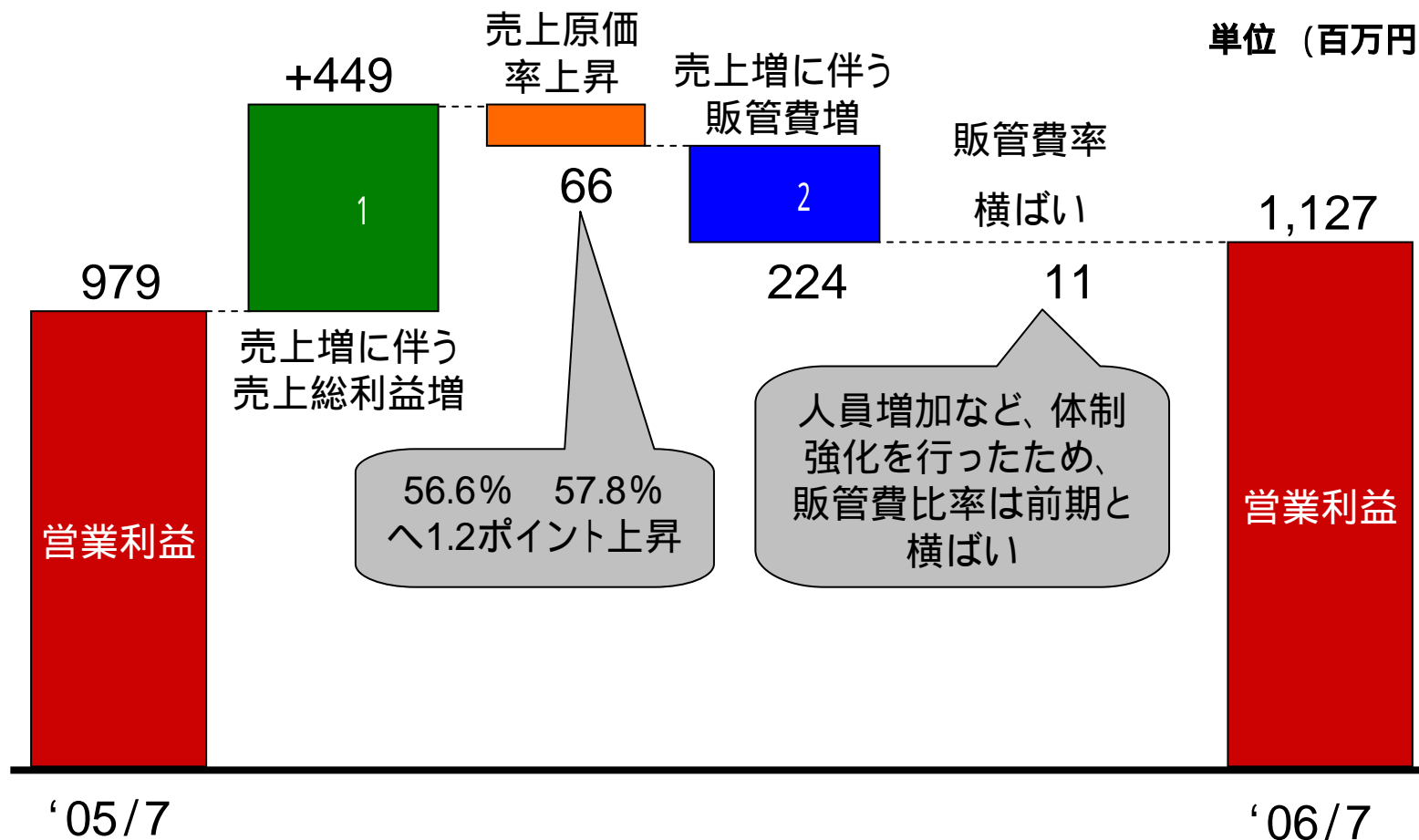
'05/7

'06/7

営業利益変動要因【連結】



NIPPON PARKING DEVELOPMENT



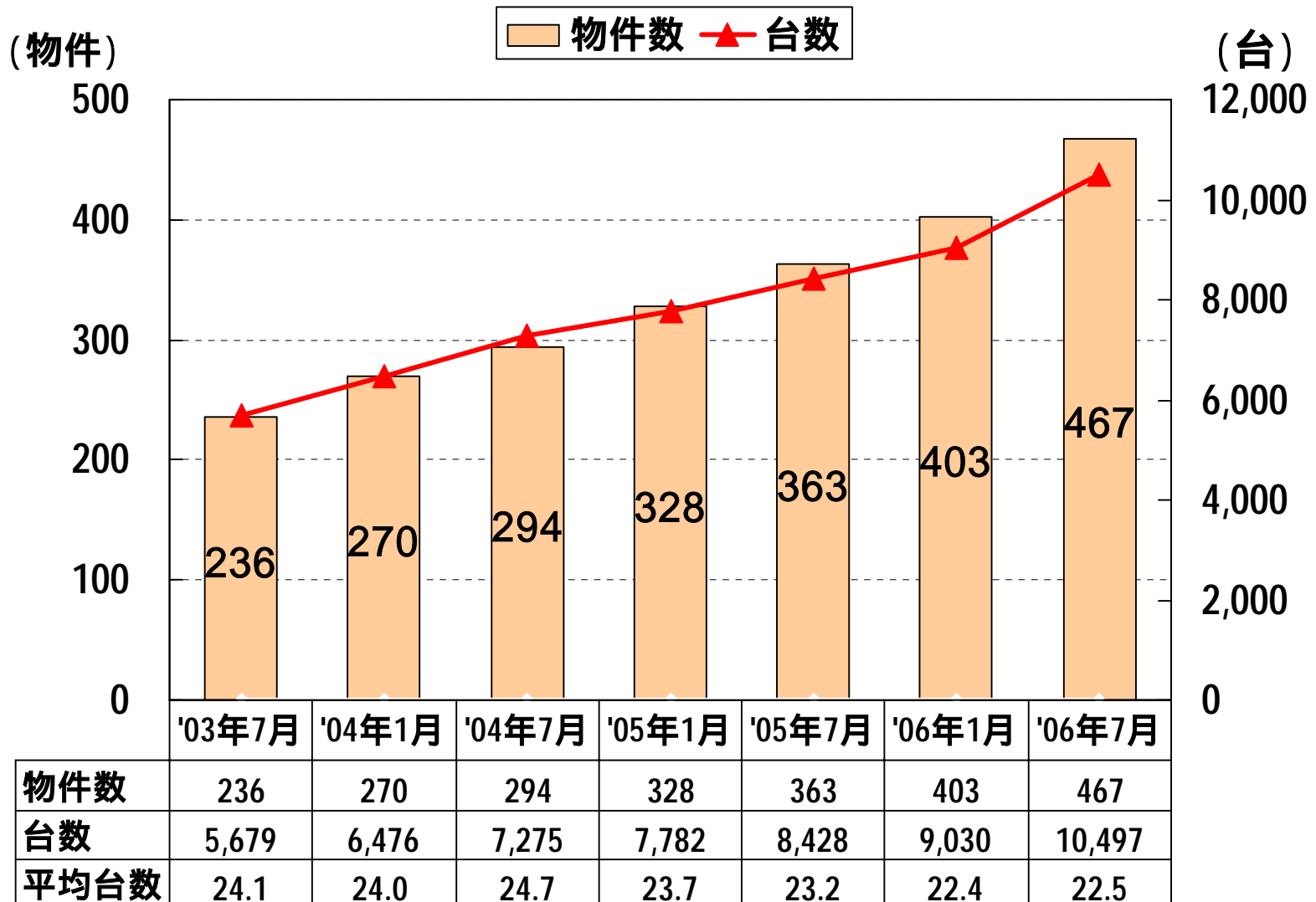
$$1 ('06 \text{売上高} - '05 \text{売上高}) \times '05 \text{売上総利益率}$$

$$2 ('06 \text{売上高} - '05 \text{売上高}) \times '05 \text{売上販管費率}$$

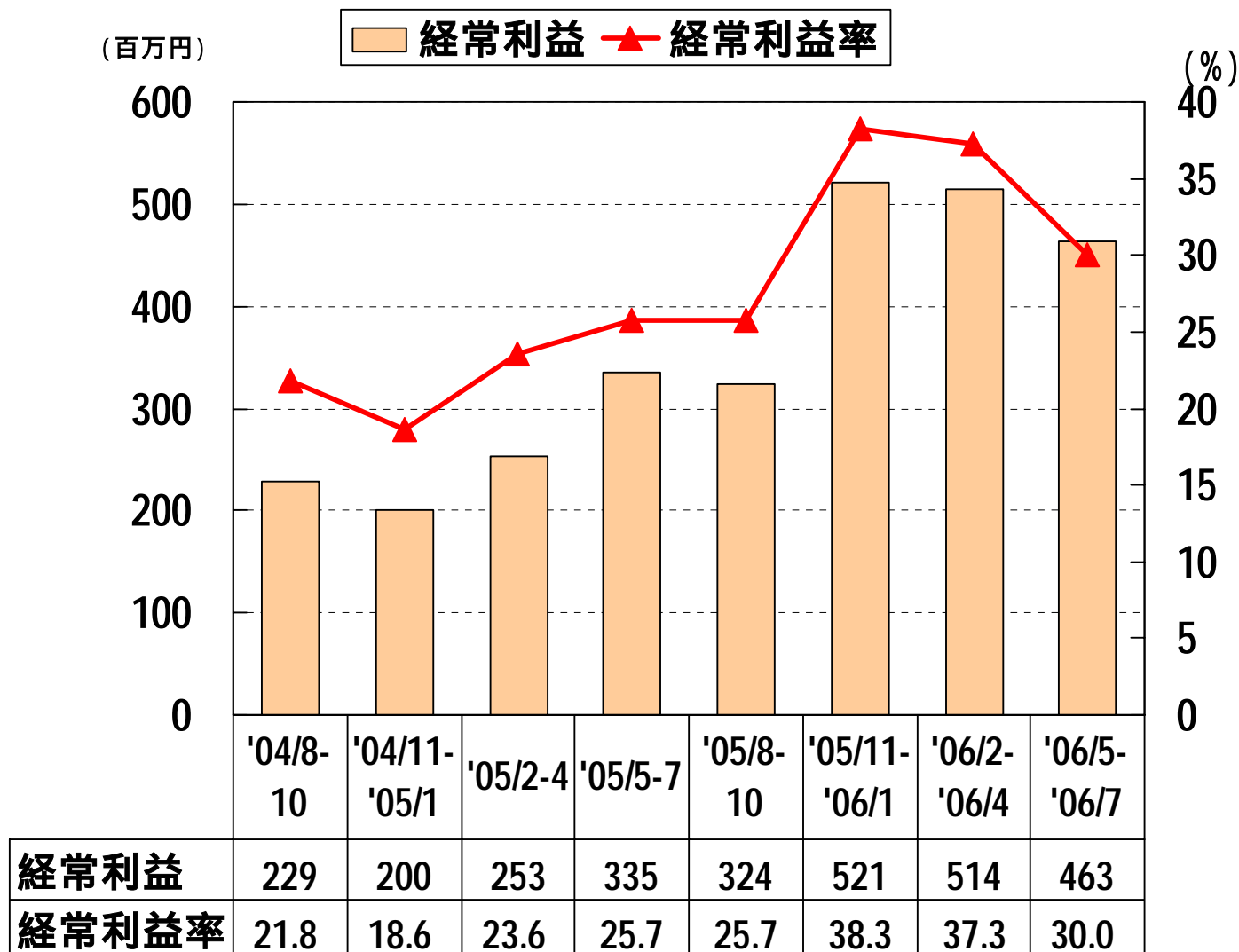
物件数および台数の推移



NIPPON PARKING DEVELOPMENT



四半期別経常利益(率)の推移【連結】

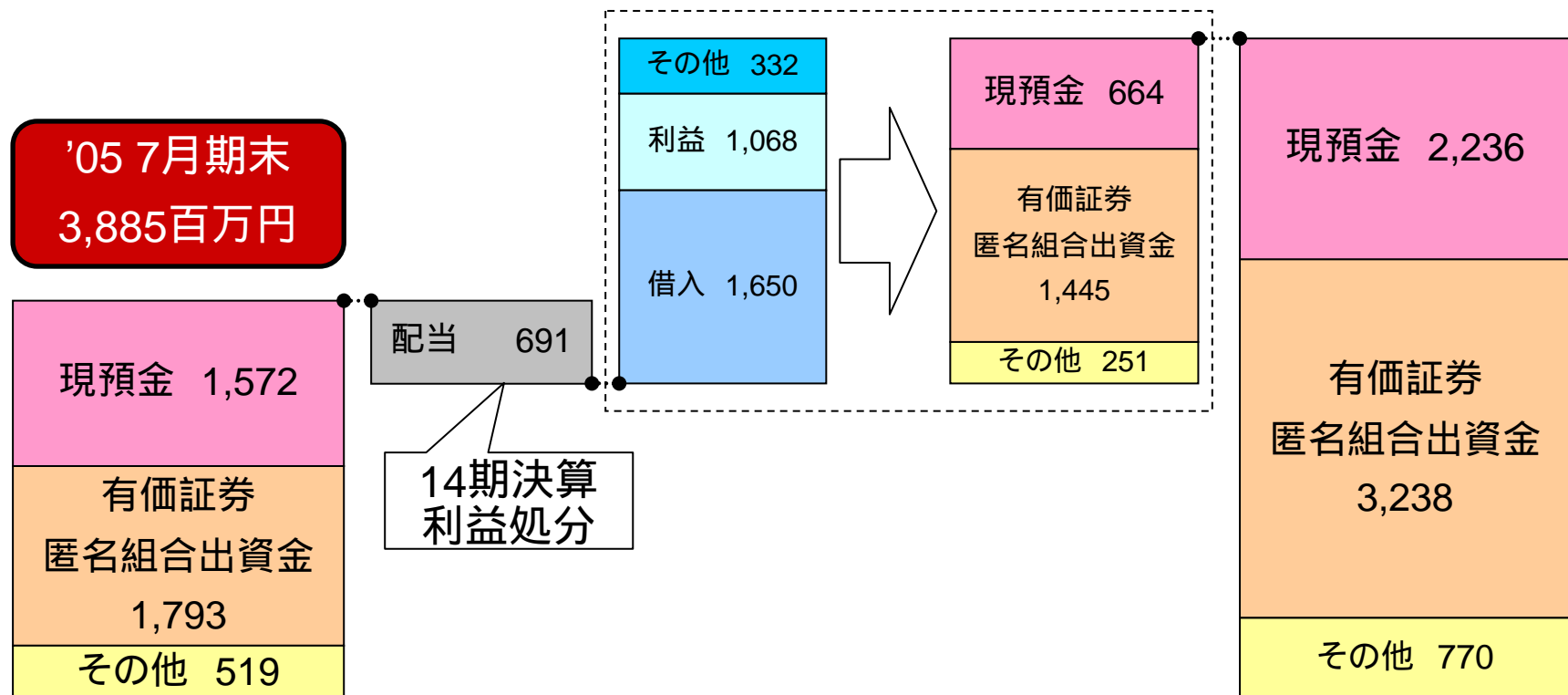


総資産の増加【連結】

総資産の増加 2,359百万円 (前期末増減比61%UP)

- 借入や利益増加によって得た資金を、駐車場ビジネスに関する株式、ファンドへ投資し、物件紹介 + 純投資による利益を獲得

'06 7月期末
6,244百万円



営業外損益の増加【連結】

- 投資有価証券の売却
- 私募ファンドへの投資
- 私募ファンド、保有株式からの配当 等

営業外項目	金額
投資有価証券売却益	603百万円
受取配当金	24百万円
匿名組合投資損益	81百万円
支払利息	14百万円
その他	2百万円
営業外損益合計	696百万円

- 第4四半期 直営物件数の増加
- 営業人員の増加状況
- 物件属性状況
- 改正道路交通法施行後の状況

第4四半期 直営物件数の増加

15期	1st Q	2nd Q	3rd Q	4th Q
直営物件数	14	26	13	51

■ 第15期においては第4四半期に取得が集中

- 営業人員強化の効果が実現化
- 不動産会社オーナー案件の増加

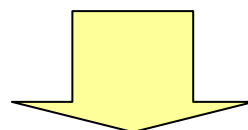
■ 第4四半期にOPENした物件例

- 恵比寿プライムスクウェア
- 汐留芝離宮
- リーフみなとみらい
- 名古屋TV塔

営業人員増加状況

	'05/7月末時点	'06/7月末時点	増減	比率
新規獲得	11	16	5	145%
月極管理	15	20	5	133%
時間貸し管理	64	84	20	131%
営業管理	4	9	5	225%
合計	94人	129人	35人	137%

- 全体で37%営業人員が増加
- 特に、新規獲得及び、営業サポートを行う営業管理人員の増加比率が高い

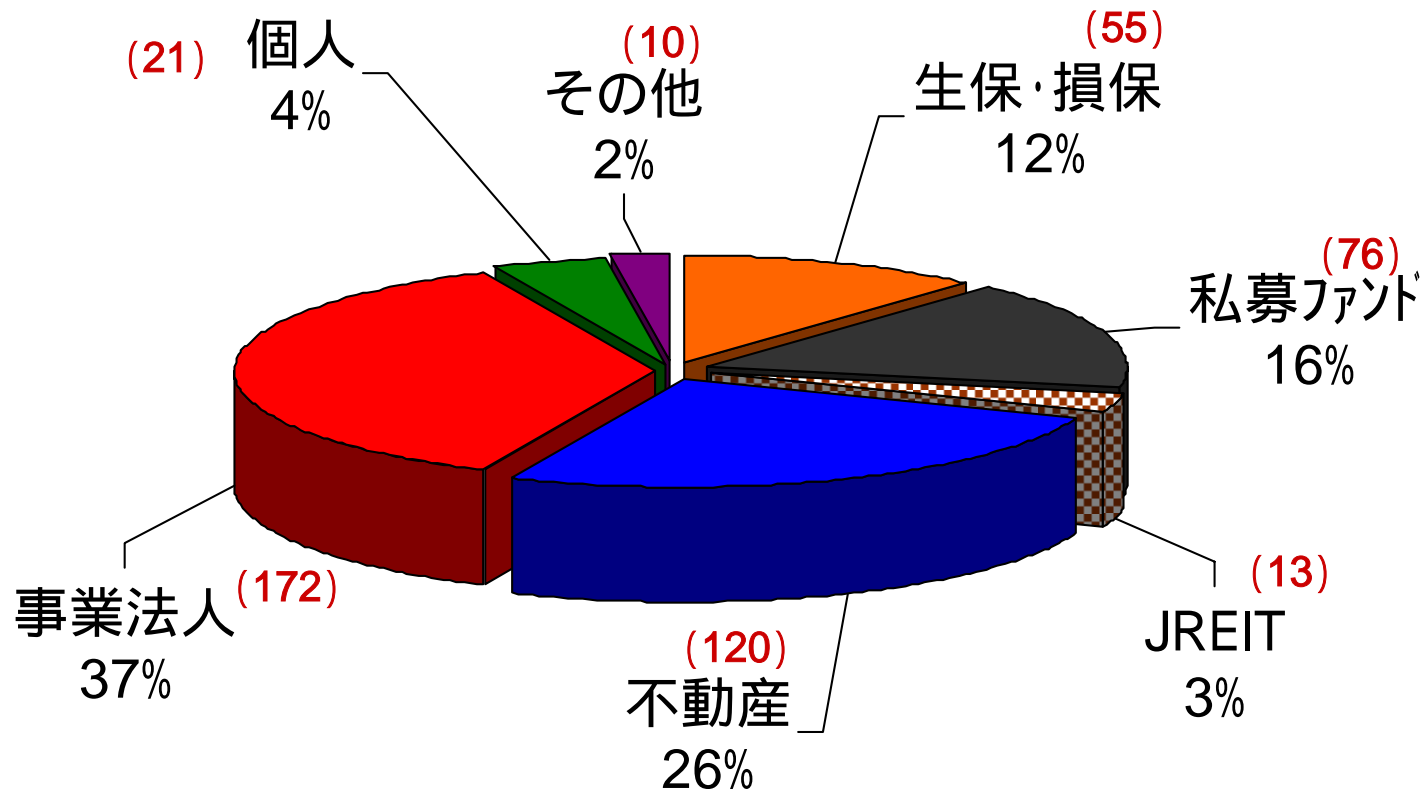


200物件獲得体制は準備完了(第4四半期実績51物件取得)

物件属性状況



NIPPON PARKING DEVELOPMENT

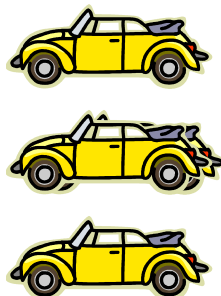


平成18年7月末現在、所有者・物件数ベース
()は物件数

改正道路交通法施行後の状況

東京重点地区

(青山、渋谷、原宿、
銀座、八重洲、池袋地区)



15%UP

- ・台数の伸び顕著
 - ・短時間利用者の増加
- 周辺路上駐車削減に寄与

大阪重点地区

(梅田、堂島、
南船場、淀屋橋地区)

同水準

- ・月極契約者増により時間貸し
スペースが減少し台数は横ばい

¥

¥

¥

5%UP

- ・短時間利用者増により
台数ほど金額増に結びつかず

7%UP

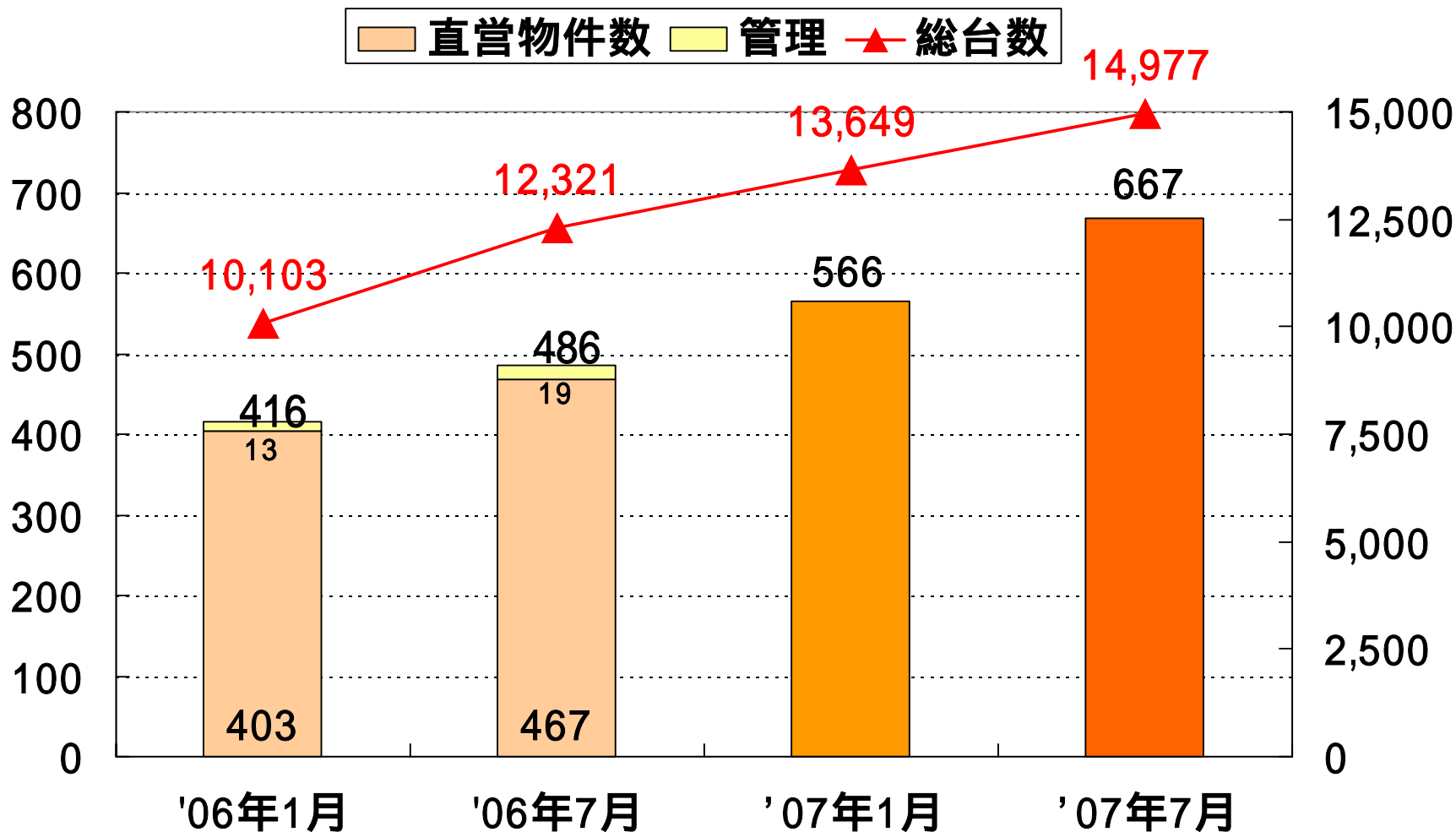
- ・駐車場需要増により料金の適正化
(単価向上)を行い売上増となる

- 物件・台数の見込み
- 事業の拡大
- IPO・IRコンサルティング事業
- スキー場事業
- 業績予想(連結)
- 業績予想(セグメント別)

物件・台数の見込み



NIPPON PARKING DEVELOPMENT



: '07年度においては直営・管理の内訳予測が困難であるため合計数値のみ表示

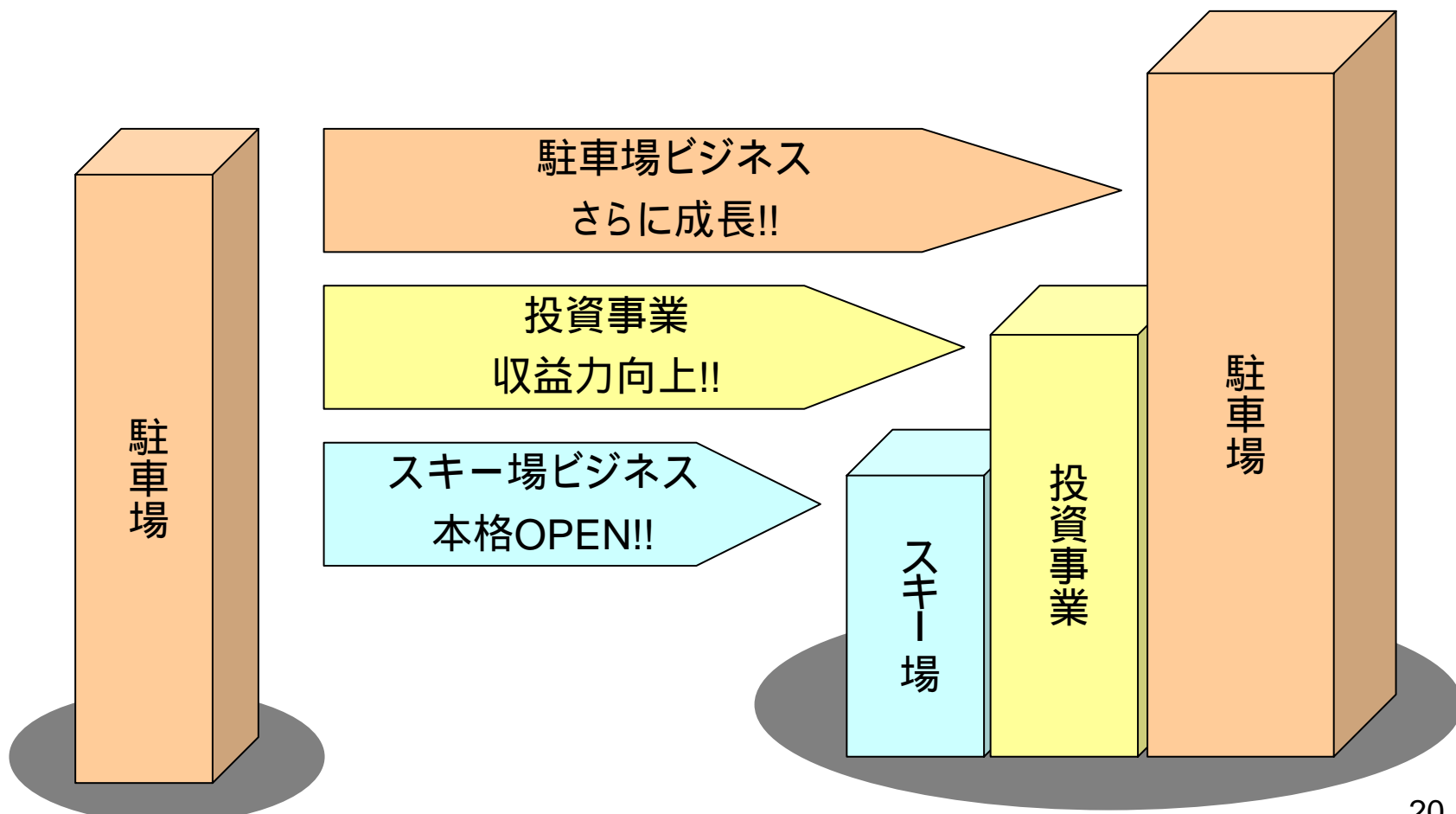
事業の拡大



NIPPON PARKING DEVELOPMENT

15期

16期



■15期：順調なクライアントの獲得（予定含め19社）

- サービス（5社）、外食（2社）、不動産（2社）、スポーツ関連（2社）、ヘルスケア（2社）
- 以下各（1） IT、情報通信、アミューズメント、金融、音楽関連、素材
2005年7月から約1年で支援先および支援内定先は約20社に。
サービスメンバーの充実化、実務経験のある専門家集団に。

■16期：収益の拡大

- 15期売上は78百万円計上
- 16期売上は350百万円、営業利益は320百万円を予想
第1号IPO案件を成功させる。
良質なサービスを提供し、中長期支援先の発掘を引き続き実施。

■ 第一号案件概要

- サンアルピナ鹿島槍スキー場(長野県大町市、リフト8基、22コース)
- 昨年度営業期間(11月23日～4月2日)、来場者数17万人
- 土地(一部賃借)、建物、リフト、商標権等を550百万円で取得

■ 運営初年度の取組み

- 2億円を投資し、レストラン等をリニューアル **【投資】**
- 株主(5万7千人)向け優待、都市圏駐車場での宣伝実施 **【動員】**
- リピーター向けサービス、駐車場バレーサービス等の導入 **【新サービス】**
- リフト、レストラン、駐車場等、全施設での接客サービス強化 **【改善】**
- 営業期間、リフト修繕計画、代理店契約の見直し **【最適化】**
- 初年度売り上げ5億円、営業利益3千万円を計画 **【黒字化】**

業績予想【連結】



NIPPON PARKING DEVELOPMENT

	'07/07月期 (百万円)	'06/07月期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減比 (%)
売上高	8,000	5,548	2,451	44.2
営業利益	1,900	1,127	772	68.5
経常利益	2,200	1,824	375	20.6
当期純利益	1,276	1,069	207	19.3

業績予想

【連結：セグメント別売上・営業利益】



NIPPON PARKING DEVELOPMENT

	'07/07月期 (百万円)	'06/07月期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減比 (%)
売上高	8,000	5,549	2,451	44.2
駐車場事業	7,150	5,470	1,679	30.7
IR・IPOコンサル事業	350	78	271	346.9
スキー場事業	500	-	500	-
営業利益	1,900	1,127	773	68.5
駐車場事業	1,550	1,056	494	46.8
IR・IPOコンサル事業	320	73	247	338.4
スキー場事業	30	2	32	-

ご清聴有難うございました。



NIPPON PARKING DEVELOPMENT